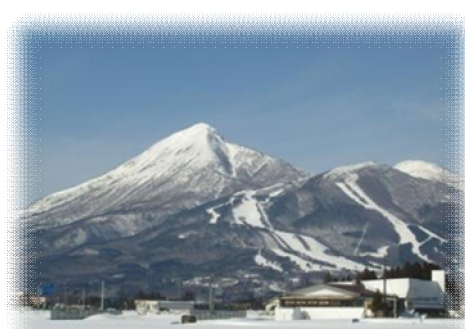


環境報告書 2012

COOP-AIZU ENVIRONMENTAL REPORT 2012

一人は万人のために 万人は一人のために
そして次世代のために



2011年3月の震災、原発事故により、私たちの暮らしや考え方が変わってきました。

本当に必要な物・大事な物とはなんだろうか？考えさせられた1年でした。

私たちは、自然と共生していかなければなりません。環境問題、資源問題をはじめとした地球規模のさまざまな問題はますます深刻化し、人類全体が「持続可能な社会」へと大転換を図らなければならないと考えます。後世に美しい地球を引き継ぐことが、私たちの責務でもあるからです。

2002年に認証取得したISO14001は、10年目の活動を開始します。ISO14001の仕組みを利用し、更なる環境負荷の低減と経済と環境が両立した「持続可能な社会づくり」のために、今後一層の努力を続けてまいります。

コープあいづは、自然豊かな会津の地が、いつまでも美しく、安心してくらしていけるよう、組合員、そして地域の方々とも一緒になって取り組んでいきます。

One For All, All For One



環 境 方 針

理 念

生活協同組合コープあいづは、「一人は万人のために 万人は一人のために そして次世代のために」の精神を掲げ、「自立した市民の協同の力で、人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現」を目指します。

豊かでくらしやすい地域を大切に、子孫に対して、人類共通の財産である美しい地球を残すため、環境保全に配慮した事業活動を行います。

経済と環境が両立した「持続可能な社会づくり」の為に、循環型システムの構築と地球温暖化対策をすすめます。

方 針

生活協同組合コープあいづは、組合員のくらしと地域社会に貢献するために、組合員活動と店舗事業、共同購入事業、共済・旅行のサービス事業を行っています。こうした活動、製品、サービスにおける環境影響の大きな項目については、目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境負荷の軽減と汚染の予防、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

環境関連の法令、条例、その他受入れを決めた要求事項を遵守します。

1. 地球温暖化の原因となるCO₂の排出量削減のために、温暖化防止自主行動計画をすすめます。
2. 事業所の省資源、省エネルギー、事業の効率化に取り組みます。
3. 事業活動から発生する廃棄物の削減、リサイクルに取り組みます。
4. 「環境に配慮した商品」の取り扱いと普及をすすめます。
5. 組合員さんと一緒に、地域の環境保全活動の推進や生物多様性の保全活動に取り組みます。
6. 事業の効率化や環境破壊につながる車両事故を減らします。

以上の活動を進めるため、コープあいづの組合員の為に働くすべての人に環境方針を周知します。
この環境方針を広く公開し、環境活動の取り組み状況について定期的に、公表します。

2011年4月21日制定
生活協同組合コープあいづ
理事長 荒井 信夫



事業活動にともなう環境負荷の現状

INPUT（投入）

■商品

■加工用原材料

■エネルギー、水資源（前年比）

電気	10,397,738kWh (88.1%)
ガス（LPG）	92,354m ³ (89.4%)
水	61,839m ³ (96.0%)
灯油	39,444ℓ (67.5%)
ガソリン	28,328ℓ (101.4%)
軽油	87,111ℓ (96.3%)

■資材（前年比）

レジ袋	4,466kg (94.9%)
容器包装資材（トレイ・ラップ等）	110,272kg (93.6%)
内袋	613,155 枚
ドライアイス	31,656kg (41.6%)
コピー用紙	8441kg (91.4%)
チラシ	4,832kg (89.2%)
POP 用紙	3,957kg (123.8%)
ディーゼル車	28 台
ガソリン車	31 台

エネルギー

石油製品

水資源

紙類



OUTPUT（排出）

■廃棄物（前年比）

一般廃棄物・・・179,398kg (121.7%)

■大気への排出（前年比）

CO₂・・・4936.5 t (89.6%)

商品・サービス

店舗（8）、共同購入センター
燃料スタンド（2）、配送センター
本部

RECYCLE（リサイクル）

■事業活動の中で取り組んでいるもの（前年比）

商品案内	283,220kg (97.0%)
共同購入シッパー内袋	1,800kg (108.4%)
発泡スチロール容器	28,727kg (87.5%)
廃食油	20,095ℓ (91.6%)
新聞・雑誌	46,505kg
ビン・缶・ペット	24,110kg (121.5%)
ダンボール	328,388kg (91.9%)
雑誌	4,685kg (85.5%)

■組合員のリサイクル活動（前年比）

牛乳パック	15,246kg (97.7%)
発泡トレイ	10,168kg (93.7%)
透明トレイ	1,875kg (393.9%)



地球温暖化防止の活動

毎年のように起こる集中豪雨、台風の巨大化、猛暑・・・異常気象による被害が深刻になってきています。

地球が少し変だぞ・・・私たちは、未来の子供たちに安心して暮らせる地球を引き継いでいく責任があります。

地球温暖化の原因となるCO₂の排出量を削減する枠組みを定めた「京都議定書」。2012年は京都議定書第一約束期間の最終年であり、国内外の温暖化対策が一つの節目を迎えます。今後の対策の方向性は既にある程度明らかになってはいますが、2013年以降のより具体的な目標や枠組みなど、COP18に向けて国内外で様々な交渉が進められていくことになると予測します。京都議定書目標達成計画に代わる国内の新たな計画も、2013年3月までには姿を見せることになると考えられています。

コープあいづも、地球温暖化防止の取り組みを強めていきます。



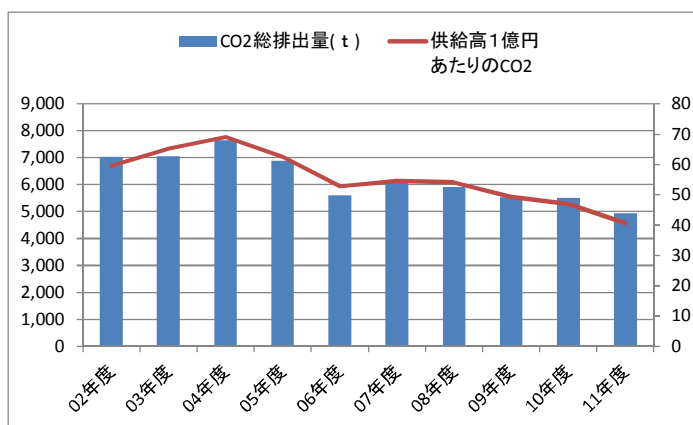
地球温暖化防止自主行動計画

コープあいづは、全国の生協と一緒に事業からのCO₂削減を目指し、「温暖化防止自主行動計画」を策定して取り組んでいます。

2002年度を基準年とし、「商品供給高1億円当たりのCO₂排出量」を原単位として削減する取り組みをすすめてきました。

2011年度は、原発事故による「節電」が行われ、前年比で575 tもの削減ができました。

2012年度は、厚生労働省のフォローアップが終了します。2013年度より進める、総量削減を目指した新たな計画づくりを検討していきます。



	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度
CO2総排出量(t)	7,029	7,059	7,647	6,884	5,614	6,126	5,911	5,531	5,512	4,936.5
供給高1億円あたりのCO2	59.5	65.3	69.1	62.5	52.8	54.6	54.1	49.3	47.0	40.6
02年度対比(総排出量)		100.4%	108.8%	97.9%	79.9%	87.2%	84.1%	78.7%	78.4%	70.2%
02年度対比(供給あたり)		109.7%	116.1%	105.0%	88.7%	91.8%	90.9%	82.9%	79.0%	68.2%



天井照明は半分で運用

空調機の設定温度を上げました。スイッチは、閉店30分前に切ります。



省エネルギーの取り組み

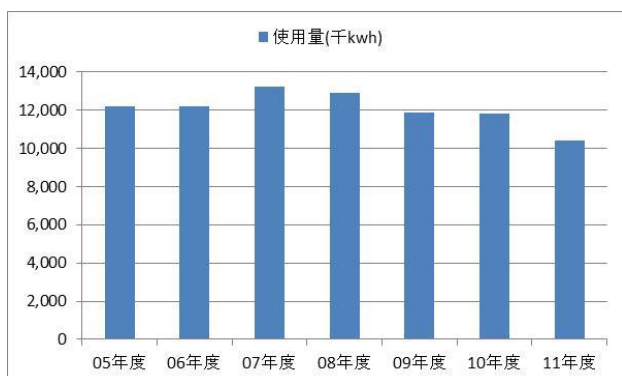
電気の使用削減

2011 年度夏の電力不足で、コープあいつは「電気事業法第 27 条」による電気の使用制限の対象ではありませんでしたが、前年対比 20%削減の目標を設定し取り組みました。

空調機の設定温度を 1～2℃上げ、店舗では天井照明は半分での運用、不要な冷ケースの照明や看板照明、軒下照明の消灯、バックヤード照明の間引き運用、職員用の自動販売機の休止など、考えられる取り組みを行い、大幅な削減ができました。

また、デマンドコントローラーの活用により、夏場のピークカットにも努力しました。

結果的に、夏期は 15.2%の削減、年間では 12%の削減ができました。



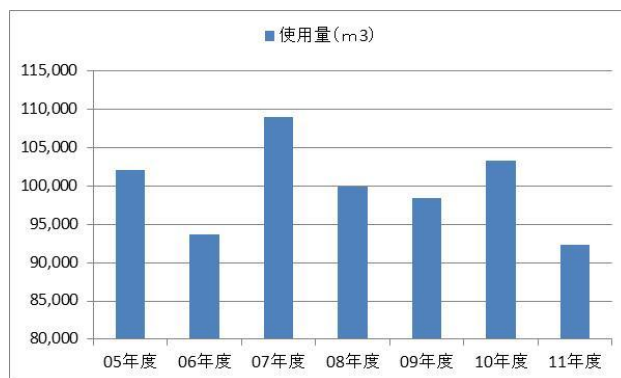
スポットライトを外して営業しました。



ガス（LPG）の使用削減

ひがし店、ほんまち店、あいおい店の空調ではガスヒートポンプを使用しており、ガスの使用削減に取り組んでいます。

2011 年度は、ひがし店の室外機の一部を電気に変えたことと、夏場の設定温度を 1℃上げたことにより、前年度対比 89.4%を大きく削減ができました。

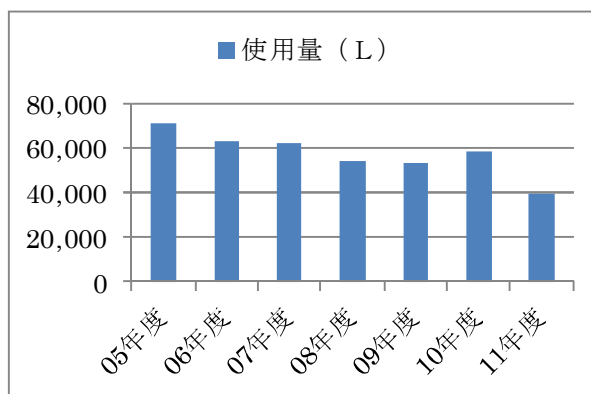


灯油の使用削減

灯油は、本部・支部・ばんげ店の暖房、ほんまち店の融雪ボイラーで使用しています。

「節電」の取り組みを冬季も継続したことで前年度対比 32.5%の削減ができました。

また、融雪ボイラーの手動運転やコマメなスイッチオフなどの努力も行いました。

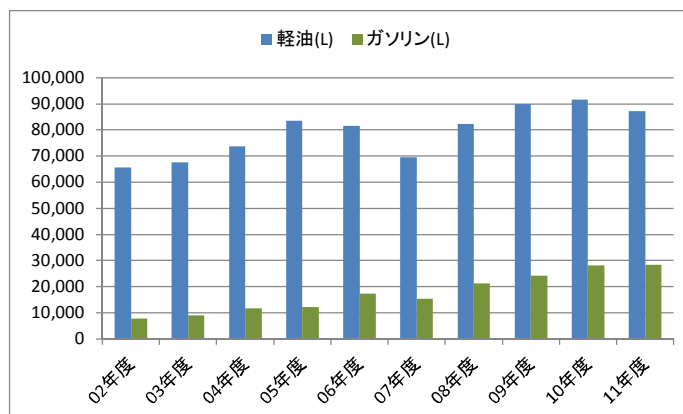


車両燃料の使用削減

軽油は、宅配事業（共同購入・個人宅配）の配送用トラックの燃料として、ガソリンは営業車の燃料として利用しています。

どちらも、事業拡大によって増加しますが、宅配事業では、地図システムの活用により、配送効率の見直しを行い、軽油の使用量は前年比で4.9%の削減ができました。配送1ポイント当たりの軽油使用量で11.4%もの効率アップを実現しています。

ガソリンの使用は、事業拡大により前年比100.2%と増加しています。ISO14001の手順で「ECCO運転」を推奨しており、少しでも使用削減ができるように努力しています。



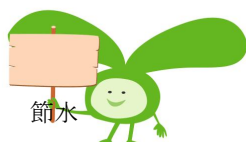
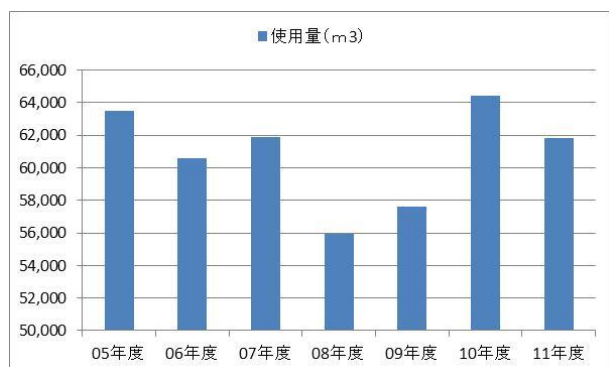
資源の使用削減

水道の使用削減

店舗では、毎日大量の水を使用します。

商品加工時に使うことが多く、削減することは難しいのですが、幹部会で毎月の使用量と料金を提示し、できるだけ削減に取り組んでいます。

また、ひがし店の職員用女子トイレに、疑似音声装置をテスト導入し、数%の削減効果が出ていたので、引き続き効果測定を行います。

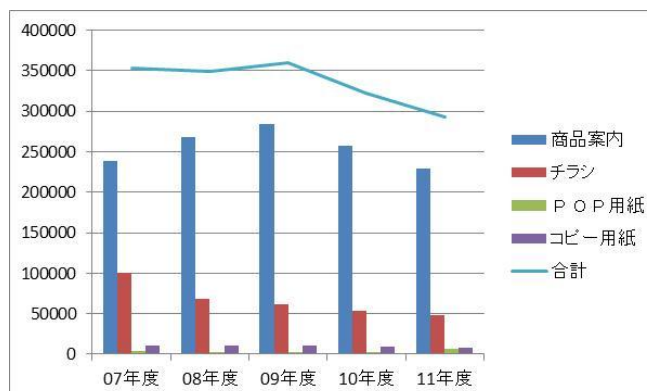


紙類の使用削減

事業で使用する紙類の多くは、宅配事業で使用する商品案内が一番多く、次に多いのは店舗のチラシ（新聞広告）です。

2011年度は、商品案内・チラシともに約10%程度削減できています。チラシについては発行回数や大きさを小さくするなどの努力をしています。

また、使用する紙資源を無駄にしないよう、自ら商品案内を回収しリサイクルしています。使用済POP用紙やコピー用紙（個人情報や機密文章を除く）についても、回収ボックスを活用し、古紙業者に運びこみリサイクルしています。

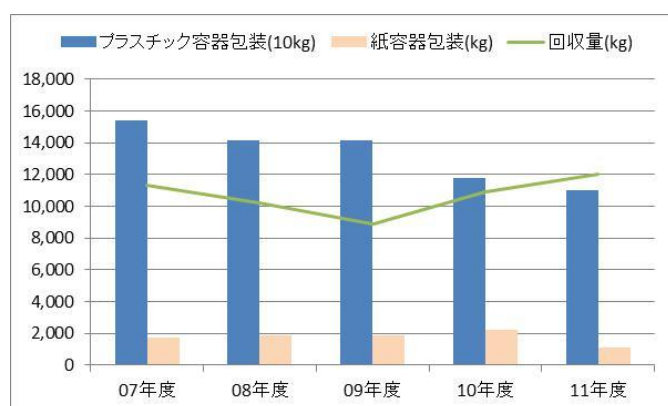


容器包装の使用削減

コープあいづでは、商品の提供に関わって、トレーやラップ、袋などの容器包装を大量に使用しています。

店舗での供給量が増えていますが、トレーの軽量化やバラ売りを行う事で、プラスチック容器の重量は6.4%削減しました。

また、もっとも多く使用しているものが店舗で使用するトレーで、2011年度の回収量は前年より10%程度増えています。



再生トレーの取り扱いを強化

トレーのリサイクルを促進するために、再生トレーの扱いを増やし、原料である石油の使用削減に取り組んでいます。

再生品であっても、表面にはバージンフィルムが使用されており、衛生面でも安心です。

コープあいづでは、リサイクル推進には回収だけでなく、再生品を利用する事が重要だと考えています。

トレー使用削減の取り組み

容器包装の使用削減の為、ノートレー商品の扱いを行っており、ミンチなどを販売しています。

刺身でも、これまでは透明の蓋を使用していた商品で、ラップに変更することで使用する容器包装の重量削減を実現しました。

青果のバラ売り、干物などのバラ売りも増やすことで、組合員さんには少量で買えるメリットもあり、たいへん喜ばれています。

レジ袋削減の取り組み

なにげなく使っているレジ袋も、石油から作られています。それを使うことで製造と廃棄で発生するCO₂は地球温暖化の原因となっています。

使用し、すぐにゴミとなってしまうレジ袋。「もったいない」の心から組合員さんによるマイバッグ運動が始まり、その使用削減に取り組んでいます。

2011年度は、レジ袋辞退率は89.4%となり、約9割の組合員さんに協力いただいています。

このことで、38.6tものレジ袋が削減できたことになります。



	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度
重量(kg)	39,097	35,727	36,993	31,145	6,731	4,704	4,466
レジ袋辞退率	13.9%	15.6%	18.8%	22.8%	87.1%	86.9%	89.4%

リサイクルの取り組み

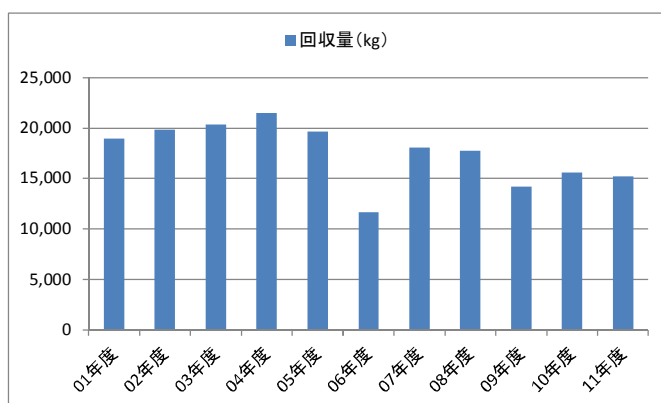
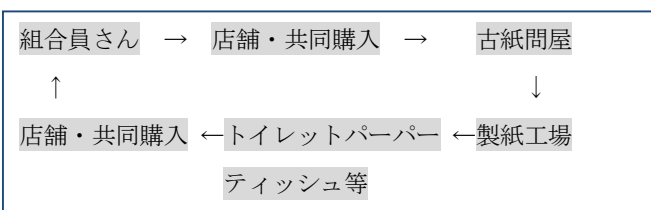
牛乳パック（飲料用紙パック）の回収

1990 年より組合員さんが主体となって始まった牛乳パック回収。2011 年度は 15,246kg の回収ができました。（1990 年からの回収重量は 366,849kg になりました）

良質なバージンパルプで作られている牛乳パックをリサイクルすることは、紙の原料となる森林資源の保護やゴミ減量化の意義があります。

回収した牛乳パックは、古紙問屋を通じ製紙会社に運ばれ、コアノンロール等のトイレットペーパーとしてリサイクルされます。

また、宅配事業で回収された牛乳パックは、共同作業所に引き取っていただいております、その運営資金になっています。



※2011 年度の回収で、牛乳パック換算で 457,380 枚の回収ができました。これは、コアノンロールにすると 76,230 個分、立木では 305 本分にもなります。



透明トレーの回収

コープあいづでは、トレーメーカーの協力で 2010 年度 10 月より透明トレーの回収も始めています。また、2011 年度 12 月からはたまごパックの回収も開始し、1,875kg の回収ができました。

2012 年度は、更に回収量が増えていく見込みです。

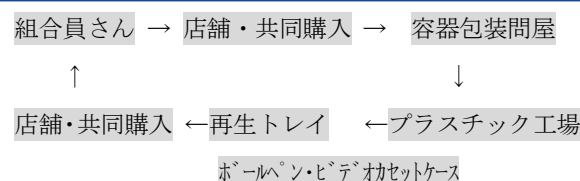
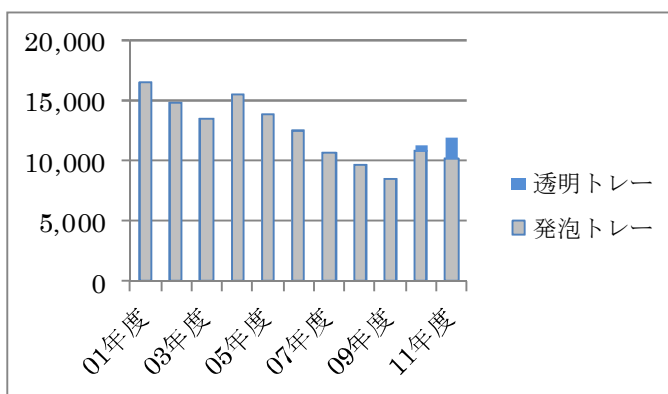
食品トレーの回収

2011 年度は、発泡トレー、透明トレー合わせて 12,043kg の回収ができました。

トレーメーカーでは、軽量化が進み回収重量は減少傾向でしたが、供給量の増加と透明トレー回収の透明トレー回収が始まり、回収量は年々増加してきています。

トレーは、石油資源から作られ、使用後はゴミとなってしまいます。そのため、コープあいづでは、そのリサイクルを進めています。

回収したトレーで、発泡容器は再生トレーにリサイクルされる為、リサイクルループが回るよう、できるだけ再生トレーを使用することとしています。透明トレーも、たまごパックやボールペンの軸などにリサイクルされます。

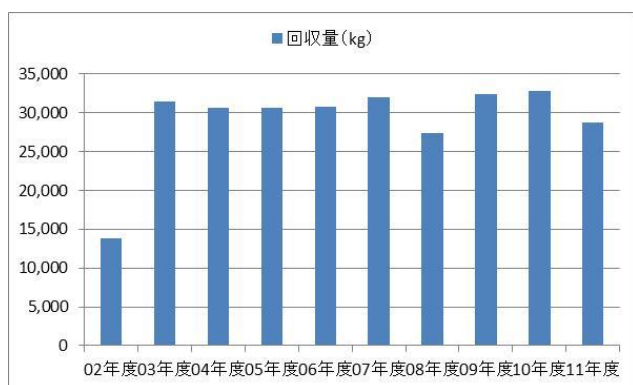


発泡スチロール容器の回収

コープあいづでは、魚などが入っている発泡スチロール容器を自ら回収し、リサイクルしています。

各店舗から排出された発泡スチロール容器は、専用の車で回収し、エコセンターにある減容機でインゴット化され、プラスチックの原料として製造メーカーに売却しています。

2011年度は、約29tの回収を行い、リサイクルすることができました。



組合員さん → 店舗 → DC (インゴット化)
 ↑ ↓
 エコベンチ・杭・バケツ等 ← プラスチック工場



店舗から大量の発泡スチロール容器が運び込まれます。

熱を加えて溶かします。



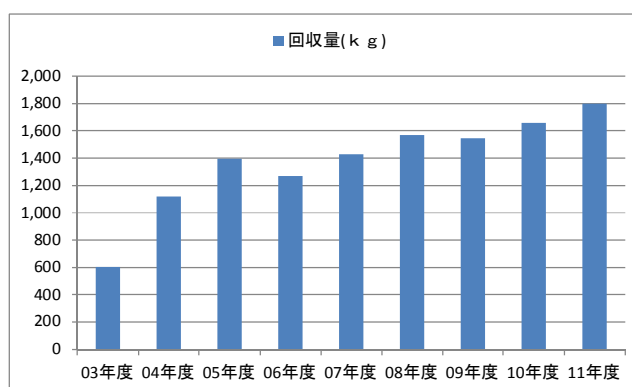
エコベンチなどに生まれ変わります。

内袋回収

宅配事業では、冷凍や冷蔵の商品を、発泡スチロール容器に入れて配送します。その商品保護の為に使う「内袋」は、貴重な石油資源から作られますが、使うとすぐにゴミとなってしまいます。

事業拡大により、内袋の使用量は増加しています。コープあいづでは、資源の有効活用を促進する為、自ら回収しリサイクルをすることで枯渇資源の使用削減、ごみ減量に努めています。

2011年度は、1,800kgの回収を行い、リサイクル工場でRPF (Refuse Paper&Plastic Fuel) 化し、製紙会社や発電所などで使う固形燃料として利用されます。



組合員さん → 共同購入センター → 産業廃棄物運搬業者
 ↓
 製紙工場・発電所等 ← リサイクル工場



↑ RPF



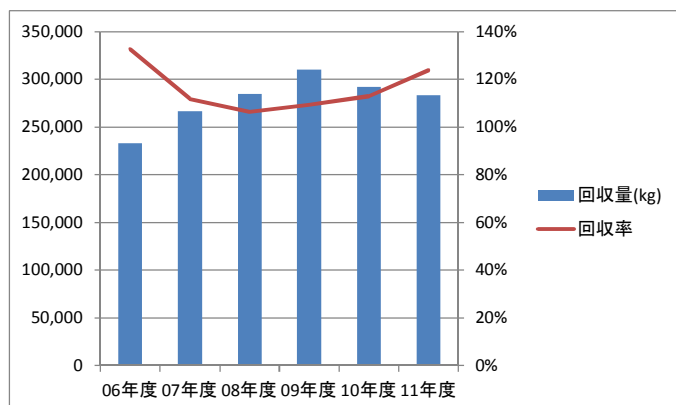
商品案内のリサイクル

生協の宅配事業は、商品案内やカタログを配布し、商品をご注文いただく仕組みです。毎週、組合員さんに大量の商品案内を作成し、お届けしています。

コープあいづで使用する紙の量では一番多いのがこの商品案内です。古紙は、貴重な資源となります。大量に発生させるものですから、自ら回収し、サンネット事業連合と一緒にリサイクルしています。

2011年度は、310,010kgもの回収があり、ほぼ100%の回収率となっています。

回収された商品案内は、古紙問屋を通じてリサイクルしています。



組合員さん → 共同購入センター → サンネット事業連合

↑
新聞・雑誌等 ← 製紙工場 ← 古紙問屋
↓



※回収率が 100%を超えるのは、お知らせの用紙なども含まれるからです。

くちよこっとエコ

CFP（カーボンフットプリント）とは、Carbon Footprint of Products の略称で、商品やサービスのライフサイクル（原料調達から廃棄まで）の各過程で排出された温室効果ガスをCO₂の量に換算し表示し、見える化したものです。

COOP 商品では、セフターEや電子レンジにも強いラップやロースハムなどに表示されています。今度買った時に見てください。

「エコステ」を開始しました

2011年8月より、ぷらざ店で「エコステ」を開始し、新聞や雑誌の回収を始めました。

「エコステ」は、組合員さんが、買物ついでに古紙をお持ちいただき、自動的に重量を量り、ポイントがたまるというシステムです。古紙の重量1kgで1ポイント加算され、300ポイントたまると、ぷらざ店で使用できる300円分の商品券が発券されます。

2011年度は、8月から11月まで運用し（冬期間は雪の為休止）、46,505kgの回収実績となりました。



廃棄物削減の取り組み

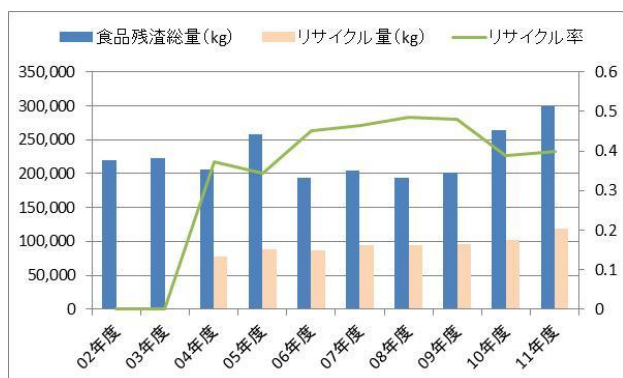
食品リサイクル

コープあいつの店舗からは、大量の加工残さや日切れ商品など、大量の食品廃棄物が発生しており、事業拡大によって増加傾向があります。その減量やリサイクルが、食品リサイクル法で求められています。

コープあいつでは、これまで各店舗に「生ごみ処理機」を設置し、乾燥及び一次発酵させたものを業者に引き取っていただき二次発酵させ、店舗で販売している「エコまる（肥料）」や産直生産者に使っていただいていた。

しかし、機械の処理能力に限りがあり（1日に約80kg）処理できないものがあつたり、一次発酵での臭い問題等から、食品残さを直接業者に引き取っていただく方式に変更しました。今までと同じ業者なので、「エコまる」の製造や販売、産直生産者とのリサイクルループは変更しないで、これまでより大量のリサイクルができるようになりました。

2011年度は全店舗での一斉スタートができず、年間のリサイクル率は少し低下しましたが、2012年度は5割を超えるリサイクルができそうです。



店舗 → 生ごみ処理機（一次発酵） → 業者（二次発酵）
 組合員さん ← 店舗（野菜・果物） ← 産直生産者 ← ↓
 組合員さん ← 店舗（エコまる）



包装材などが入らないよう分別を行い、水分を切ります。

廃食用油のリサイクル

店舗の総菜部門では、毎日大量の食用油を使用しています。コープあいつでは、使い終わった廃食油はすべてリサイクルに回しています。

にいでら店・ほんまち店・あいおい店・とねがわ店は「ピーターパン共同作業所（会津美里町）」で、ばんげ店では「桜の家共同作業所（坂下町）」で廃食油を回収いただき、バイオディーゼル燃料（BDF）としてリサイクルされ、会津若松市内で走るタクシーやエコロン号（市内循環バス）の燃料等に活用されています。

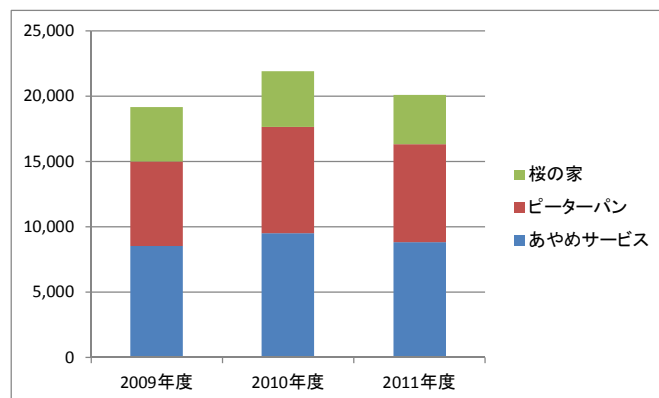
ひがし店・ぷらざ店・しおかわ店から排出された廃食油は、「あやめサービス（山形市）」で回収され、飼料として活用されています。

<回収実績>

ピーターパン共同作業所：7,514ℓ

桜の家：3,760ℓ

あやめサービス：8,820ℓ 合計 20,094ℓ



すべて品質を点検してリサイクルされます。（ピーターパン）



BDF 製造機

組合員と一緒にすすめる環境保全活動

みんなでエコ！2011

家庭での省エネ活動、マイバッグ持参運動、リサイクル推進、環境配慮商品の普及などの活動に取り組みました。

一日エコライフに取り組みました。

地球温暖化を防ぐためには、私たちの暮らしの中からCO₂をなるべく出さないことが大切です。

組合員さんに「毎日の暮らしの中で温暖化防止に取り組みましょう！」と呼びかけ、「一日エコライフチャレンジシート」を使った省エネ活動への参加を呼びかけました。

今年度は、昨年を大きく上回る 2,018 名の参加がありました（昨年は 1,560 名）。

「冷房の設定温度を 28℃以上にする」「テレビはつけっぱなしにしない」などの取り組みをして、全体でCO₂が 1,095kg も減らしました。

エコライフ項目	1日で減らせるCO ₂ 削減量	実行できた人数	減らせたCO ₂ の合計量
1 冷房の設定温度を28℃以上にした	102g	3人	306g
2 電気ポットを長時間使わない時はプラグを抜いた	121g	1人	121g
3 冷蔵庫の中に詰め込み過ぎないようにした	49g	1人	49g
4 冷蔵庫の扉の開け閉めの回数を減らした	12g	3人	36g
5 シャワーのお湯は出しっぱなしにせず、こまめに止めた	88g	3人	264g

省エネチャレンジに取り組みました

2011 年度は、「一日エコライフ」の活動に加え、一ヶ月間省エネの取り組みを行っていただき、検針票で昨年と比べ電気使用量がどれだけ削減できたかを評価する取り組みを行いました。

初めての取り組みでしたが、31 名の方に参加いただきました。電力不足の中での滑動で、中には昨年より 30% 以上も削減された方もありました。

これからも電力不足が続く中、暮らしの中の省エネの必要性はますます重要になります。これからも活動を広げていきたいと思います。

身近な環境を知る活動

環境委員会では、水質検査や大気検査、身近な学習会などを開催しています。

環境委員会は、コープあいつの組合員さんならどなたでも参加できます。一緒に勉強や活動しませんか！

せせらぎウォッチング

北会津にある「水辺の楽校」で、会津美里町（本郷）の公民館主催「ゴー!ゴー!トライ」の子どもたち 15 名が参加して「せせらぎウォッチング」を開催しました。

講師は、県のせせらぎスクールに参加した環境委員さんたちが行いました。

川に住む生き物から、川の汚れなどがわかります。生き物は、環境の変化を教えてくれます。雨での開催でしたが、楽しい学習会ができました。



全県一斉水質調査に参加しました

福島県では、身近な水環境への県民の意識向上を図るため、水環境保全活動に取



り組む県内のNPO団体やボランティア及び学校等の協力を得て、水質の簡易分析器具を使用して行った全県一斉水質調査に取り組んでいます。

環境委員会では、この調査に参加しており、会津若松、塩川、喜多方、坂下を回って水質の簡易分析器具（パックテスト）を使ってCOD濃度を調査しました。

※COD：化学的酸素要求量。この値が大きいほど有機物が多く汚れていることを示します。

	4月	6月	7月	10月	12月	3月
湯川(上流)雨降滝	-	6	-	-	-	-
湯川(中流)小田橋	-	8	-	-	1	1
湯川(中流)城西小前	5	8	6	3	2	1
湯川(下流)涙橋	4	6	-	3	4	2
濁川：見頃橋	5	6	6	3	3	1
田付川：幸橋	3	7	8	4	1	1
日橋川：南大橋	-	6	6	3	3	1
鶴沼川：八千代橋	5	-	7	4	-	2

判定基準 (ppm) 0：きれいな水 1～5：汚染あり

5～10：汚染が多い 10～：汚染

大気の汚れ調査に取り組んでいます

環境委員会では、酸性雨や喘息の原因となる大気汚染物質の一つである二酸化窒素（NO₂）の測定を、年4回取り組んでいます。

会津若松市、喜多方市、坂下町の小学校やコープあいつの店舗等20箇所で定点観測を長年取り組んでおり、貴重なデータとなっています。

環境基準値を超えるような場所はありませんが、きれいな会津の大気を守る為、今後も観測を続けていきます。



	6月	9月	12月	3月
にいでら店(若松)	0.0159	0.0026	0.1006	0.0079
ほんまち店(若松)	0.0132	0.0026	0.0159	0.0106
あいおい店(若松)	0.0132	0.0026	-	0.0530
本部(喜多方)	0.0079	0.0026	0.0106	0.0106
ひがし店(喜多方)	0.0053	0.0026	0.0106	0.0185
しおかわ店(喜多方)	0.0053	0.0026	0.0026	0.0344
とねがわ店(喜多方)	0.0159	0.0053	0.0079	0.0106
ばんげ店(坂下)	0.0106	0.0053	-	0.0053

環境基準 0.04～0.006pm

リサイクル学習会

ペットボトルのリサイクルを行っている会津美里町にある「会津工場フェニックス」に工場見学に行きました。

日常生活の中で欠かせない存在となったペットボトル。生まれ変わるためには、まずキッチンと分けて出すことが大切だと学んできました。



エコクッキング

今回は、フライパン1つで主食、主菜、副食を作る料理に挑戦しました。一度に調理ができ、ガスなどの使用量が少なくて済みました。

毎回、あっと驚くメニューで、美味しく、楽しい時間が過ごせました。



クリーン鶴ヶ城作戦に参加

毎年、会津若松市のシンボルであり、憩いの場でもある鶴ヶ城をまちのみんなできれいにする活動に参加しています。

身近な自然を感じながらの清掃作業は心の交流をはかる機会となります。

環境フェスタに参加しています

毎年、会津若松市が主催し行われる「環境フェスタ」に参加して活動のPRを行っています。

2011年度は、水質検査やNOx調査の発表、ケナフの展示や紹介などを行いました。

また、体験工作として「新聞紙でエコブローチ」「まつぼっくりでツリー」を行い、大勢の親子に参加いただきました。



一日エコライフの参加も呼びかけ、当日はシールを貼って参加するなどの取り組みを行い、家庭での省エネ活動を呼びかけました。



「毎日やっているよ!」「これからやるよ!」という項目にシールを貼っていただきました。

「エコメッセージ」で素敵な花が咲きました。



エコキャップ回収

2010年度から環境委員さんで取り組んでいるエコキャップ回収運動。

最初は委員さんだけの活動でしたが、職員や店舗の休憩室なども回収が始まり、回収量は100kgを超えました。



ケナフの苗を配りました

ケナフは、CO₂の吸収の良い植物です。

環境の事、地球温暖化の事を考えるきっかけにさせていただけるよう、店舗などで組合員さんに声をかけ、ケナフの苗を配布し育てていただきました。

また、店舗の前にプランターで育てたケナフを置き、組合員さんに見て頂いたり、日よけとしても活用しました。



ISO14001の取り組み

2011年度の環境目標の達成状況

目標達成(^) 目標未達成(T)

著しい環境側面	2011年度目標	実績	結果
CO2の排出	供給高1億円当たりのCO2排出量を09年度対比3%削減する。	達成率	(^)
電気の使用	店舗の電気使用量を、09年度対比2.9%削減する。 (目標 11,097,700kWh)	9,958,368kWh 達成率 111.4%	(^)
電気の使用	支部の電気使用量を、2010年度対比110.1%に抑制する。(目標：377,443kWh)	3687620 kWh 達成率 97.4%	(T)
電気の使用	時間外労働の削減。36協定を超える職員を2010年度より15%少なくする。(目標：492人)	463人 達成率 106.3%	(^)
電気の使用	労働災害を09年度より6件削減する (目標：22件)	26件 達成率 84.6%	(T)
営業車輛燃料 (軽油)の使用	共同購入配送車の軽油使用量をポイント数対比09年度の1.3%削減する。(目標：0.2270/ポイント)	0.2320/ポイント 達成率 119.1%	(^)
営業車輛燃料 (軽油)の使用	軽油1L当たりの灯油配達量を09年度比0.5%向上させる。(目標 261 0/L)	2580/L 達成率 98.9%	(T)
ガスの使用	ガスの使用量を09年度対比0.7%削減する。 (目標 97613m3)	92,239m3 達成率 105.8%	(^)
生ゴミの排出	廃棄ロス金額を09年度より9,412千円削減する。 (目標 55,412千円)	50,728千円 達成率 109.2%	(^)
生ゴミの排出 (リサイクル)	生ごみのリサイクル率を46.4%にする。	40.6% 達成率 87.4%	(T)
環境方針・商品	環境配慮商品を年4品目普及する。	4品目 達成率 100%	(^)
環境をテーマにした学習会	環境をテーマにした学習会の参加者を150人にする。	249名 達成率 166.0%	(^)
エコライフ活動の推進	エコライフの参加者を2000人に拡大する。	2018名 達成率 100.9%	(^)
車輛事故による 破損	共同購入配送車両の事故を09年度より8件削減する。(目標 28件)	達成率	(^)

※ISO14001とは：International Organization for Standardizationの略語で、国際標準化機構という国際的な機関です。14001は、環境マネジメントシステムを表す番号です。
⇒ISO14001とは、環境管理のための国際標準規格のことで、環境マネジメントシステムの為の「要求事項」を示したものです。つまり、環境を良くするために必要な組織の「枠組み」のことです。

環境関連法規

法規制等の順守状況（主なもの）

主な法規	対象となる施設及び要求事項	順守状況（2012年4月調査）
消防法	・事業所の防火対象物の定期点検報告。 ・防火管理者の設置。 ・灯油・軽油・ガソリン等の危険物貯蔵及び管理者。	・危険物貯蔵及び取り扱い管理については問題なし。 ・防火管理者、危険物保安監督者の設置を確認。 ・施設の防火対策は、消防署の立ち合い検査も受け、問題がない事を確認。
浄化槽法	・年1回指定検査機関による法定検査。（第11条） ・法定に基づく保守点検及び清掃。	・点検及び清掃の実施。 ・2011年度の法定点検はすべて終了。法定基準を超えるものはない。
下水道法	・排水水質基準の順守。 ・排水事故時緊急措置及び届出。	・水質基準で問題なし。 ・排水事故等は起きていない。
水質汚濁防止法	・河川等への油流失による汚染	・河川等への流出事故は起きていない。
騒音・振動規制法	・指定区域内の特定施設の設置の届出。（冷凍機及び空気圧縮機の出力7.5kw以上の設備）	・届け出の維持確認済。 ・騒音振動の苦情発生なし。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・一般廃棄物、産業廃棄物の委託業者との契約。 ・廃棄物の保管、管理。 マニフェストの発行と管理	・委託契約書の点検及び整理の実施。 ・マニフェストの発行で、A票の紛失3件。県に確認し、B1票で確認。最終処分も終了。 ・マニフェスト発行状況報告実施済（2011年5月）
容器包装リサイクル法	・使用量に応じたりサイクル義務。 ・排出抑制義務（店頭回収の促進、レジ袋の削減）及び報告義務。	・トレーの店頭回収、レジ袋削減の取り組み。 ・委託契約、2012年2月に実施済。 ・定期報告、2011年8月に実施。2012年度報告は6月までに実施予定。 *避難地域のメーカーのデータ集約が遅れたが、震災により報告期限が延期され期限内に提出。
食品リサイクル法	・再生利用等の実施及び目標の設定。2012年度までに45%、以降50%まで毎年2%増加、50%以上は毎年1%増加。 ・定期報告義務。	・2011年6月に報告。2012年度は6月までに実施予定。 ・一部の店舗で再資源化が休止し、再資源化が低下。2011年12月から全店舗で再開し、45%以上の再資源化見込み。

主な法規	対象となる施設及び要求事項	順守状況（2012年4月調査）
エネルギーの使用の合理化に関する法律	・エネルギー管理統括責任者及びエネルギー管理企画推進者の選任 ・中長期計画の策定。 ・定期報告の実施。	・エネルギー管理統括責任者及びエネルギー管理統括責任者及びエネルギー管理企画推進の選任届の実施。 ・中長期計画及び定期報告の実施。 ・管理標準を作成し、エネルギー管理を実施。
資源有効利用促進法	・分別回収のための表示義務	・PB商品は、メーカー点検で実施。問題ないことを確認した。
フロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	・フロン引渡しにおいては「委託確認書」の交付と「引取証明書」による引渡し終了の確認。	・フロン破壊処理の実施はない。
PCB 処理特別措置法	・PCB 廃棄物の届出・保管	・現時点で管理するものはないが、古い安定器を処理する際には調査が必要。
喜多方市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定	・マイバッグ、マイバスケットの持参の呼びかけ。 ・マイバッグ、マイバスケットの販売。レジ袋の辞退数、マイバッグ、マイバスケット持参率など削減状況を市に報告。 ・レジ袋の無料配布の取りやめ。	・有料化の完全実施により、レジ袋辞退率は89.4%になっている。 ・総重量に関しても、来店者数が伸びているが、年間累計では重量を削減してきている。
福島県におけるレジ袋の削減に関する協定	・マイバッグ等の持参を呼びかけ、レジ袋の削減の取り組みの推進。 ・レジ袋の収益金は環境対策に活用。 ・マイバッグ等の持参率及びレジ袋削減を図る活動状況等について、定期的に福島県に報告。	

<ちょこっとエコ>

福島県では、24年7月8日より「マイバッグ推進デーキャンペーン」を実施します。コープあいづも、福島県と一緒に毎月8日9日を「マイバッグ推進デー」として活動に取り組みます。皆様のご協力お願いいたします。

環境コミュニケーション

事故緊急事態の訓練及び発生

灯油、ガソリンの河川流出事故を想定した訓練テストは、若松燃料、喜多方燃料で実施し、手順等に問題がないことを確認しました。

環境に関わる、事故緊急事態の発生はありませんでした。

内外からの「声」

環境に関わる意見や情報は、112件ありました。組合員さんからの声が8件、職員からの意見が104件でした。

組合員さんからは、リサイクルと放射性物質に関する意見が出されています。職員からは、夏期の節電対策に対する意見が多数出されました。

節電に関しては、職員の知恵を集め、15%節電を達成することができました。

<主な意見>

- ・ ぶらざ店でやっている、ポイント制古紙回収をぜひいつも利用している「あいおい店」にも導入して頂きたいです。
- ・ コープ店内にある野菜は、原発や放射能の影響はないんでしょうか？心配です。
- ・ 節電しても、結果がどれくらいかわからないので、店ごとに1ヶ月の電気量（使用料）など掲示すれば良いと思う。
- ・ 蛍光灯（鮮魚のダウンライト）及び裸電球を、LEDのランプに交換。
- ・ 鮮魚、青果、精肉、日配のスポットライトは消灯する。
- ・ 店頭の自販機の半減（4台のところ2台に）
- ・ 商品を並べている多段ケースですが、一番上だけつけて、段になっている部分の電気をつけないように工夫できれば、電気の節電になると思います。

地域や行政との連携やネットワーク

福島議定書の取り組みに参加しました。

2011年度も、福島県が推進している「福島議定書」に参加し、実施期間中（9月～11月）に電気、ガス、車両燃料などの削減目標を設定し、取り組みを行いました。

行政の会議に委員として参加しています

福島県が主催する、「地球にやさしい“ふくしま”県民会議 会津地方会議」の委員として、環境管理責任者の目黒室長（役員室）が参加し、事業に対する意見や提言をしています。

地球にやさしい“あいづ「地球温暖化防止フェスタ」に参加しました

会津短期大学で開催された「地球温暖化防止フェスタ」、コープあいづの環境事務局が参加し、「家庭における省エネ診断」を実施しました。



教育訓練

全職員が、「コープあいづ環境テキスト」を使い、環境学習を行いました。

日本生協連による環事業境研究交流会及び北海道東北地連地球温暖化防止自主交流会に環境管理責任者及び事務局が参加しました。

環境事務局が、みやぎ生協の内部環境監査に参加しました。

ISO14001 内部環境監査及び外部審査の実施

内部環境監査

内部環境監査員 10 名が 11 月 12 日～11 月 30 日にかけて 14 部署の内部環境監査を実施しました。

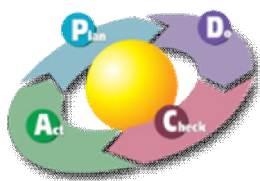
審査の結果、43 件の所見が出されました。内訳は軽微 B が 3 件、観察 20 件、推奨事項 13 件、評価できること 7 件の結果で、重大な不適合はありませんでした。

改善が必要と指摘された内容は、①生ごみ等（廃棄物）の排出重量の記録を行うことに対し一部門で記入漏れがある。②ゴミ置場に分別表示（看板）が取れているところがある。③産業廃棄物（廃掃法）を排出する際に発行するマニフェスト伝票で、排出者に保管義務がある A 票の紛失があります。④「力量、教育訓練及び自覚」の指摘が多くなっており、手順書を作成した時点と現時点での運用管理に差異が散見されるので現状に沿った手順書に見直すことや教育の対象者漏れが無いような仕組みが必要。

①～③に関しては改善が図られています。④については、2012 年度の活動で改善できるよう見直し作業を行っています。

評価された点では、①廃棄ロス削減の目的目標で、時間帯別客数を記録して、動向を有効に活用していることで大幅に計画達成している。②容器法では容器包装削減が求められているが、その努力の一つとして刺身類のフタを止め、ラップへの変更により、重量削減及び経費削減につながる取り組みをされている。③放射能の問題で、福島県産以外の産地商品の取り扱いを組合員様より要望があり、新規産地の開発に着手されている。

指摘を受け、更に環境マネジメントシステムが機能し、環境負荷の低減や環境管理の強化、さらには経営に役立つよう、見直しや教育の強化を図っていきます。



外部審査（1 年次サーベイランス）

2 月 16 日～17 日の 2 日間、審査会社によるサーベイランス審査を受けました。

審査の結果、総合評価で「向上」の評価を頂くことができ、認証の維持ができました。

評価いただいた項目は 3 件、改善が望まれる事項が 3 件、不適合（修正が必要な事項）はありませんでした。

ISO では、「継続的改善」が求められており、改善すべきことは確実に改善し、良い面は更に伸ばしていく必要があります。

ISO の審査は、「コープあいづが環境に配慮した活動が行われているかどうか」組合員さんに替わって、外部の目で見ても評価いただくという意味もあります。

更に環境保全活動を推進し、地球温暖の原因となる CO2 の排出量削減、そして、組合員さんの暮らしに役立ち、地域の環境保全活動の推進に役立つ活動を推進していきます。



現場のエコ活動についてインタビューがされます。

日常の点検作業が確実に行われているか審査で確認します。



環境報告書に関するお問い合わせ

生活協同組合コープあいづ

役員室 新山敦司

TEL 0241-22-1041 FAX 0241-24-3504

Mail a_niiyama@coop-aizu.jp